

祭囃子が聞こえる飛驒の小京都

第5回岐阜県民スポーツ大会オリエンテーリング 2011年9月25日 岐阜県高山市

古いおしゃれな街並み。秋の空に響く祭囃子。歴史の高山城。充実した競技。濃密な一日を見つけた。

2011年9月25日 岐阜県高山市
第5回岐阜県民スポーツ大会

個人	
1 国沢五月	450点
2 木村佳司	450点
3 鹿野勲次	400点
グループ(一般組)	
1 林周平組	330点
2 青木茂組	100点
グループ(家族組)	
1 長谷川誠二組	330点
2 森田剛志組	280点
3 森田真実組	260点

飛驒高山の秋は大人気

キラキラ広がる自然の中にぼつりと輝く飛驒の小京都「高山」をめがけて観光バスが押し寄せ。高山陣屋を中心とした歴史的町並みの周囲は、飛驒情緒を楽しむ人たちでこの秋一番の賑わいを見せていた。

ところがそんな観光街の目と鼻の先にある丘陵地では、獲物のフラッグをめがけてギラギラ目を輝かせるオリエンティアの姿があった。

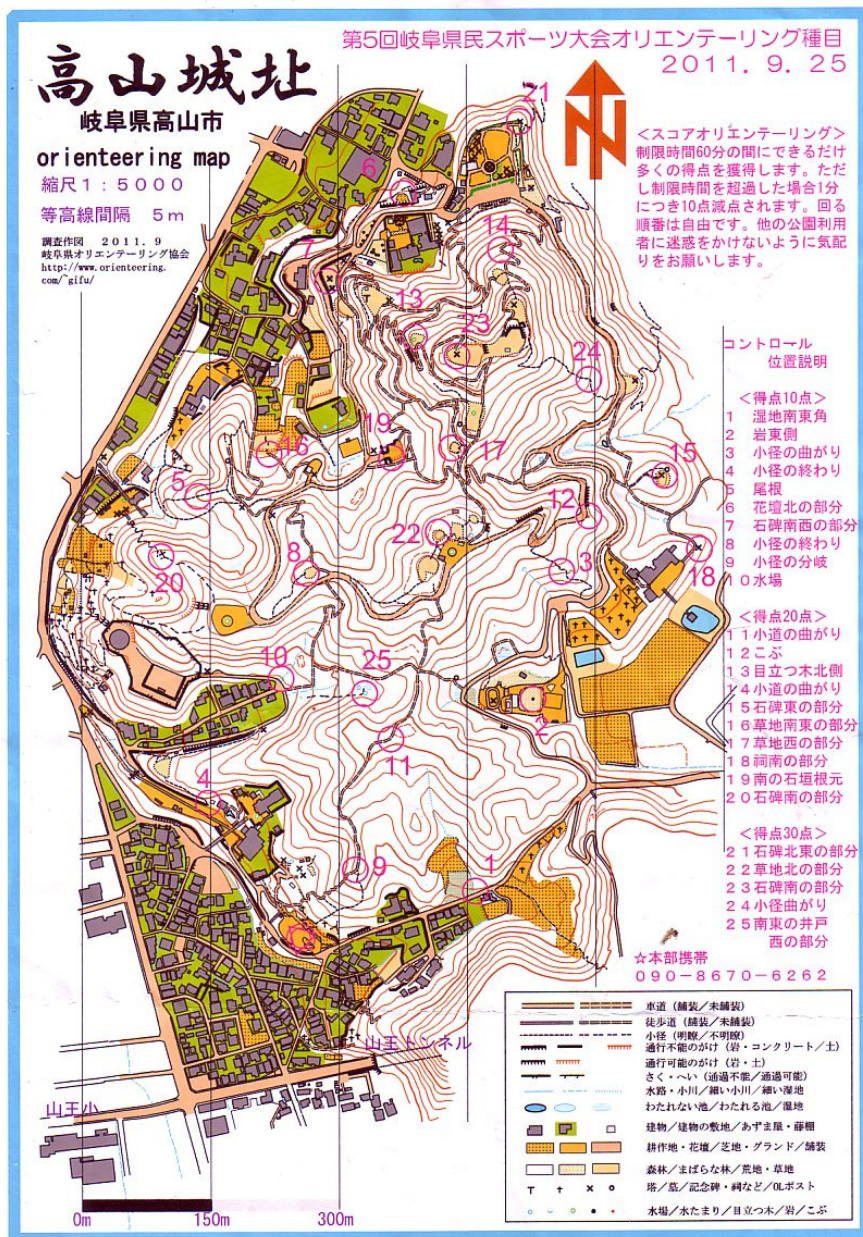
高山市中心街のすぐ横に高山城跡。もともと飛驒高山はこの高山城を中心とした城下町であった。城下に置いた寺社仏閣とそれを囲うように町屋が広がった。これが今の飛驒高山の姿を作ったといわれている。ところが江戸中期に飛驒が江戸幕府の天領となると、高山城は取り壊され、町屋と陣屋が残りそれが今の飛驒高山の観光資源となっている。

高山城を総攻撃

今はひっそりとした高山城跡。人々の記憶から忘れられた丘陵地。

だが300年の時を越えて戦いの時は来た。散りばめられたお宝コントロールを目指して60分のスコアオリエンテーリング。満点目指して、攻めて攻めて、城攻めじゃ。

何重にも張り巡らされた遊歩道。さすがの山城にアップダウンも堪える。城の周囲を警護する寺の庇をすり抜け、神社境内の静寂を突き進む。



のどかな秋の日

大会自体は30名程度の小規模なものであったが、競技自体は十分に楽しめるものだった。

会場の周囲はちょうど秋祭りの時期。祭囃子を遠くに聞きながら穏やかな秋の一日に素敵な汗を流した。

アフターも充実

イベント後には徒歩で高山陣屋に出て、江戸時代の行政機関を見学し、歴史的町屋では地酒の試飲の誘惑を振り切った。秋の飛驒路を存分に楽しんだ

一日だった。

飛驒高山でオリエンテーリングが開催されるのは18年ぶり聞く。今回高山市街地のする横にあるこの公園に0-mapがリメイクされたことで、今後も活動が行われるに違いない。

(木村佳司)